

2019年9月10日

各位

インフラファンド発行者名
タカラレーベン・インフラ投資法人
代表者名 執行役員 菊池 正英
(コード番号 9281)

管理会社名
タカラアセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 衛
問合せ先 代表取締役副社長 兼 菊池 正英
インフラファンド本部
投資運用部長
(TEL: 03-6262-6402)

GRESB インフラストラクチャー評価結果に関するお知らせ (「Sector Leader」に選出)

タカラレーベン・インフラ投資法人(以下「本投資法人」といいます。)は、2019年に実施されたGRESB インフラストラクチャー・ファンド評価に参加し、「4スター」(最高位は5スター)の評価を取得し、さらに「アジア地域」における「Sector Leader」に選出されましたので下記の通りお知らせいたします。

1. 「Sector Leader」選出について

GRESB インフラストラクチャー評価において、GRESB が各地域・セクターで最も高く評価した参加者を「Sector Leader」として選出しており、本投資法人は日本のインフラファンドとして初めて「アジア地域」における「Sector Leader」に選出されました。



2. 評価結果について

本投資法人のESG情報の開示体制や、ESG目標設定の取組みが評価された結果、ファンド総合評価において本投資法人が属する「再生可能エネルギー」ピアグループにおいて本投資法人はアジア9ファンド中1位、世界20ファンド中2位の評価を取得しました。

また、GRESB インフラストラクチャー・アセット評価に参加した、本投資法人が保有するインフラ資産およびオペレーターである株式会社タカラレーベンによる「リスクと機会」及び「ステークホルダーとの関係構築」の取組みが高く評価され、グローバル相対評価による「GRESB レーティング」において「4スター」(最高位は5スター)を取得しました。



3. GRESB インフラストラクチャー評価の概要

GRESB は、責任投資原則 (PRI) を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設された、実物資産 (不動産やインフラ施設など) ポートフォリオの環境・社会・ガバナンス (以下「ESG」といいます) パフォーマンスを測るベンチマークおよびその運営組織の名称です。2019 年 9 月現在、運用資産計 22 兆米国ドル以上、100 社を越える機関投資家が GRESB に加盟し投資運用プロセスにおける投資先選定や投資先との対話に GRESB データを活用しています。

GRESB インフラストラクチャーは 2016 年に創設された、インフラファンドを対象とする「ファンド評価」と、ファンドの投資先となるインフラ資産やその運営会社を対象とする「アセット評価」の 2 種から構成される ESG パフォーマンスを測るベンチマークです。2019 年は世界各国の計 107 ファンド、393 アセットが GRESB インフラストラクチャー評価に参加しました。

GRESB と GRESB インフラストラクチャー評価についての詳しい情報は、GRESB のウェブサイト <https://gresb.com/> をご参照ください。

4. 本投資法人の今後の対応

本投資法人及び資産運用会社であるタカラアセットマネジメント株式会社 (以下「本資産運用会社」といいます。) が属するタカラレーベングループでは、「幸せを考える。幸せをつくる。」を企業理念とし、「すべての人が安心して暮らせる街づくり」への貢献を目指しています。

本投資法人及び本資産運用会社では、地球にやさしい持続的な環境づくりに貢献することを基本理念とし、自然エネルギーの活用を通じて価値を創造し、地域社会における雇用創出及び社会経済の発展、地球温暖化対策並びにエネルギー自給率の向上に寄与することを目指しています。

本投資法人及び本資産運用会社は基本理念の達成と持続可能な社会の実現が投資主価値の向上に資するものと考え、今後も ESG 課題に対して具体的かつ積極性をもった取組みを進めてまいります。

※本投資法人のサステナビリティへの取組み : <http://tif9281.co.jp/sustainability.html>

以 上

※本投資法人のホームページアドレス : <http://tif9281.co.jp/>